

## 保育計画成果報告書

法人名等	一般社団法人アンジュの会
施設名	クラルテ保育園
報告者（役職）	村松伊見子（園長）
住所・連絡先	東京都世田谷区世田谷 1-19-9
	☎ 03-3429-4882
	E-mail Kurarute-1@outlook.jp

○タイトル（保育計画）

日本の文化に触れよう

○主な助成備品

茶道具一式

### 1. 保育計画策定の目的

本園は昭和 47 年 4 月に保育室という形で保育を始め 43 年という長い年月をかけて家庭的できめ細かい保育を心がけ、地域に根ざしてきました。

昨今の待機児童対策への対応を踏まえ、28 年 4 月に認可保育園に移行しました。

社会の状況や家庭の在り方が急激に変わっていく中で子どもを取り巻く環境にも影響を及ぼし変化が見られます。また、便利さや豊かさが進む中、心の育ちや人との触れ合いにおいてもその希薄さが気になるところです。

その為、保育においては、様々な体験を積み重ねる事を通じて豊かな心を育み、生きる力を培うことができるような、環境を構成、提供することが大切であり、役割であると考えます。

以前、心に残る活動の一つとして、何か日本の心、文化に触れられるような時間を持ってないかと考えていた中、園長の知人で茶道の経験のある方のご好意により“お茶会”を開いてみては、というお話を頂きました。「え、そんなことできるの？」と思いましたが、「ぜひぜひ、やってみたい。」といった気持ちが湧いてきて、そのような貴重な経験を子どもたちの大切な節目に取り入れてはどうかと考えました。

## 2. 具体的な実施内容

### 初釜（春のお茶会）1月27日（土）

日本人であるべき正座をして作法を学んできました。

今日は、感謝の気持ち「いつも有難う！」の心を込めて、おもてなしをしました。



🍵 全体の雰囲気

子どもと対面に保護者が正座し、少し緊張感のある中、静かな時間と向き合う。



🍵 今年は二人だけの年長児が、先生が見守る中お茶を点てました。



🍵 ふた工程少ないが年中児もお茶を点てました。



🍵 点てたお茶を保護者の前に置きお互いに一礼し、保護者がお茶を頂きました。



🍵 子どもたちは、和菓子と保育士が点てたお茶を頂きました。



### 3. その成果と評価

昨年の「進級お祝い会」では、普段日常では得られない感覚を味わうことができると共に、個々の名前を呼ばれ、皆の前で振る舞われる事で一人ひとりの存在感が増した事と思います。昨年は全園児対象で賑やかな「お茶会」でしたが、今年の「初釜」は4.5歳児とその保護者を対象として行いました。和やかな中にも凜とした雰囲気が出ていてとても素敵な会でした。

#### 茶道の先生から

「空気がしっかりと茶道になっているのを見て嬉しく思いました。」と感想を頂きました。

#### 保護者の方からは、

☼今年度のお茶会に出席して、感謝の気持ちを込めてお茶を点てる。きちんと正座をする。お辞儀をする。という一つひとつの動作が教育上とても良いと思いました。

☼子どもたちの成長が感じられてとても嬉しく感動しました。「美味しかったよ！有難う」と伝えるととても嬉しそうな表情を見せてくれました。貴重な体験をさせて頂いたと思っています。

等、沢山の感謝の言葉を頂きました。

### 4. 今後の課題と展望

子どもたちが小さな頃触れたことは、一生の宝となります。

大きくなり沢山の事を学び、人との出会いの中、必ずその心や感じたこと、作法は何かの時、支えとなることと思います。

「一杯のお茶を差し上げる」ことがどのような意味で大切なことなのか、心を伝えるという事はどのような事なのか「茶道」を通して伝えていきたいと思っています。

これからも子どもたちが楽しんで参加できるような計画を立てていきたいと思っています。

この度はありがとうございました。

以上